

2011.11.24 吉田コーチレポート

11月23日、関東大会決勝が行われ、学院は45-3で慶応高校に勝利しました。これで昨シーズンに続き、関東では春・秋通じて全勝でクリスマスボウルに出場することになりました。また、同日に行われた関西大会決勝では大産大附属が関西学院を24-21で下して、関西代表となりました。この結果、2007年、2008年に続き、大産大附属とは3回目の対戦となります。過去2回は、6-23(2007年)、21-28(2008年)と連敗しています。

クリスマスボウルは12月23日(祝・金)12時から横浜スタジアムで行われます。

2年連続・日本一を狙うべく、最後の1ヶ月間でさらなるレベルアップを図りますので、今シーズンも最後までご声援のほど、よろしくお願いします。

<試合結果>

学院 45-3 慶応

1Q 7-3

2Q 14-0

3Q 21-0

4Q 3-0

<試合経過>

学院のキックで試合開始。慶応の攻撃は慶応陣15ydから。QBラン2回で3rdダウン4yd。ここで慶応はパスに出るが、レシーバーがチップしたボールをCB#34岡田(3年)がインターセプト。いきなり、慶応陣27ydから学院の攻撃というチャンスを迎える。しかし、最初のプレーで先発QB#6笹木(2年)のショートパスを慶応にインターセプトされ、そのままターンTDを許してしまう。ただ、慶応が不必要なブロックの反則を犯してTDは取り消され、学院陣35ydから慶応の攻撃。3rdダウン9ydまで追い込むが、ヒッチパスからWRに走られて4thダウン1yd。ここで慶応はギャンブルを選択。ブラストでダウン更新を許し、学院陣23ydまで進まれる。ここでディフェンスが踏ん張り、ランをノーゲイン、パス失敗、QBドロ-3ydゲインに抑え、4thダウン7yd。今度は慶応はFGを選択。ボール・オン20ydからのFGを決められ、0-3と先制を許した。

次の学院の攻撃は、学院陣40ydから。慶応にフェイスマスクの反則があり、慶応陣40ydでダウン更新。ラン2回を止められて3rdダウン10yd。ここで、ロールアウトからのQB笹木のロングパスをWR#81諸口(3年)がジャンプしてナイスキャッチ、ゴール前4ydまで進む。TB#22藤井(3年)のスイープで2ydゲインした後、再びTB藤井がパワーで2ydを押し込んで、TD。TFPはK#4佐藤(3年)が決めて、7-3と逆転。

この後はお互いにパントを蹴り合い、第2Qへ。学院陣45ydから学院の攻撃。TB藤井のパワー2回でダウン更新し、慶応陣41ydへ。TB#3ジェームス(1年)がブラストで中央を抜け出し、慶応陣15ydでダウン更新。そして、TB藤井がカウンターで15ydを走りきり、TD。TFPのキックも成功し、14-3とリードを広げた。55ydをラン4回という圧倒的なドライブだった。

次の学院陣22ydからの学院の攻撃もラン中心のドライブ。FB#10向山(3年)のダイブで学院陣42ydでダウン更新。さらにTBジェームスがカウンターで抜け出し、慶応陣31ydへ。しかし、ここから進めなかった。TB藤井のラン2回を1ydで止められた後、パス失敗で4thダウン9yd。ここで、学院はFGを選択。ボール・オン30ydからのK佐藤のキックはブロックされて失敗し、追加点はなかった。

2011.11.24 吉田コーチレポート

ここで、前半残り 2 分。学院はタイムアウト 3 回を使って、時間を消費させずに慶応の攻撃を止めてパントに追い込む。このパントをリターナー#3 寺中(3 年)が学院陣 48yd まで 14yd リターンして、学院の攻撃。残り時間は 1 分 30 秒でタイムアウトはなし。まず、TB 藤井のスクリーンでロングゲインするが、学院にイリーガル・ブロックの反則があつて罰退して、1st ダウン 2yd。パス失敗の後、TB 藤井がショートパスを受けてから好走し、慶応陣 28yd へ。WR#83 五十嵐(3 年)へのショートパス 2 回でダウン更新し、残り 30 秒。パス失敗の後、学院のプレーが遅れてディレー・オブ・ゲームになる直前に何故か慶応がタイムアウト。ここで落ち着いた学院は QB 笹木がロールアウトから WR#85 阿部(2 年)へパス成功。ゴールライン直前でパスを受けた WR 阿部はそのままエンドゾーンに飛び込んで、TD。残り時間は 20 秒だった。TFP のキックも成功し、21-3 で前半終了。

後半は学院のリターンで試合再開。学院陣 34yd から学院の攻撃。まず、TB 藤井のスィープ。ダウン更新してアウト・オブ・バウンズに出たところで、慶応にアフターの反則があり、慶応陣 40yd でダウン更新。TB ジェームスのカウンターが 3yd ゲインした後、TB 藤井がカウンターで慶応陣 21yd へ。さらに TB ジェームスがスィープで抜け出し、ゴール前 1yd へ。TB 藤井がパワー 2 回で押し込んで、TD。28-3 (TFP はキック成功)とリードを広げた。このドライブもラン 6 回で 51yd と慶応の反則 15yd という力強いものだった。

次の学院の攻撃は学院陣 36yd から。TB ジェームスのパワーで 9yd 進んだ後、WR 諸口へのミドルパスが決まり、慶応陣 30yd へ。TB 藤井のカウンターで慶応陣 19yd まで進んだ後、FB 向山へ TD パスが決まり、35-3 (TFP はキック成功)として勝負を決めた。

学院は次の攻撃でも QB 笹木が FB 向山へ 9yd TD パスを決めて、42-3 (TFP はキック成功)とした。第 4Q は控え選手が出場。さらに K 佐藤のボール・オン 10yd からの FG を追加して、45-3 で試合終了。

<コメント>

関東大会は 2 回戦、準決勝ともに先制されて厳しい展開になったので、立ち上がりは気をつけていました。ディフェンスから始まって、インターセプトという絶好の立ち上がりだったのですが、最初のプレーで 73yd のインターセプト・リターン TD をされるという最悪の結果でした。

(中略 ~メールマガジン【BEARS OB 会ニュース】にてご覧ください~)

これからの 1 ヶ月、さらにレベルアップして試合に臨みますので、今シーズン最後の試合に是非来場して、ご声援よろしくお願ひします。

<今後の試合日程>

12 月 23 日(祝・金) 全国決勝クリスマスボウル vs 大産大附属 12:00 横浜スタジアム